・＜2026 年 9 月 16 日版＞

第 10 回日本肩関節学会　キャダバーワークショップの開催案内

この度、第 10 回日本肩関節学会キャダバーワークショップを 2026 年 11 月 28 日（土）・29 日（日）に、名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンターにて開催する運びとなりました。

例年、教育研修委員会では、実習研修として、2015 年から前年 2025 年まで（2020 年はコロナ禍のため中止）キャダバーワークショップを実施しております。

本キャダバーワークショップの特徴は、

① **参加者 12 名**に対して、**6 名**の講師による指導体制であること。
（関節鏡：3-4 テーブル（1 テーブルにつき受講生 2 名）／直視下手術人工関節コース：2-3 テーブル（1 テーブルにつき受講者 2 名）に専任の講師が配置され、常に技術指導が受けられます。
② 座学の講義（合計 2 時間、日整会単位　2 単位取得可能）も含まれ、最新の関節鏡手術手技と人工関節手術手技を学べること。
③ Whole body の献体を利用するため、より実際の手技に近い状態で手術ができること（手術のセッティング、術中肢位の取り方、適切なテンションの把握、神経血管束との位置関係の理解など、より実践的な能力を身につけることができる）。
④ 人工関節コースでは講師のデモンストレーションを間近で観ることができること。
⑤ 関節鏡コースでの手術動画、人工関節コースにおける講師のデモンストレーション動画がどちらのコースの参加者にも配布されること（データの取り扱いは個人利用に限る）。
⑥ 海外渡航と比較して旅費が安く、移動時間が短いこと。
⑦ 肩関節学会員であれば誰でも参加できること。

このように、本ワークショップでは国内研修の利点と特徴を生かし、会員の皆様からのアンケートも参考に最新の手術方法，技能を習得できる講習内容となっています。

また、過去の研修会と比較して献体準備費などの経費の関係上、参加費が高くなっている点についてご理解頂きたいと思います。

つきましては、募集内容・注意事項をご確認の上、ご希望の会員の先生方からのお申込みをお待ちしております。

一般社団法人日本肩関節学会　理事長　今井晋二
日本肩関節学会教育研修委員会　担当理事　菊川和彦
日本肩関節学会教育研修委員会　委員長　土屋篤志

【会　名】第 10 回日本肩関節学会キャダバーワークショップ
【会　期】2026 年 11 月 28 日（土）・29 日（日）の 2 日間
【会　場】名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンター
〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
【主催】名古屋市立大学大学院医学研究科　整形外科教室
【共催】日本肩関節学会
【開催概要】
近年、肩関節外科において様々な手術技術が開発されている。それらの技術は的確に行われれば安全で質の高い医療として受け入れられることが可能であるが、その習得に時間がかかるのが現状である。肩関節鏡手術では関節内・関節外構造の理解と立体的オリエンテーションが大切であり、直視下手術では神経血管束を避け侵襲を最小限にするための適切なアプローチ方法や人工関節の設置方法など動物の肩関節を用いて実習することが不可能なものである。
日本肩関節学会キャダバーワークショップの目的は、肩関節の基本的手術として必須である肩関節鏡視下手術、人工関節置換手術、関節脱臼制動手術、肩腱板縫合手術に必須な肩関節に特有な手術アプローチを習得するために、解剖標本を用いてシミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術技術を習得することである。
今回実施する肩関節学会キャダバーワークショップでは、献体された方々の崇高な意思を忘れることなく、感謝と敬虔な態度で遺体に接することで、生命の尊厳への理解を深めてゆく。手術手技研修の前後には参加者全員で献体に黙祷をささげる。
【 募集人数 】12 名 （関節鏡コース 6-8 名，直視下手術人工関節コース 4-6 名）
＊詳細は、注意事項「１」をご参照ください。
【研修参加費】関節鏡コース：16 万円／名
直視下手術人工関節コース：16 万円／名
（交通費、宿泊費等、別途個人負担）
【 申込方法 】会員マイページの Web フォームからお申込みください。
【参加費振込】参加の確定連絡が届きましたら、ご案内させていただきます。
今回、参加費を名古屋市立大学と日本肩関節学会の 2 か所に
お振込みをいただく必要があります。当学会の請求ではクレジット決済のみ。
名古屋市立大学への支払いは別途請求書をご案内いたします。
予めご了承置きくださいますようお願い申し上げます。

【応募資格と選考基準】
１．日本肩関節学会の会員であること
２．日本肩関節学会の 2025 年度年会費を納付済であること
(2025 年度会期：2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日)
※選考は日本肩関節学会教育研修委員会が行います。
※応募者多数の場合は、選考に漏れることもございますので、予めご了承ください。
※選考に漏れた場合は、次回の応募で優先的に選考されることと致します。

【実施内容】　肩関節鏡視下手術、人工肩関節置換手術、
肩関節直視下手術、サージカルアナトミー

【講　　師】（予定）

●関節鏡コース：

国分　毅先生（神戸医療センター　整形外科）
土屋篤志先生（名鉄病院　整形外科）
佐原　亘先生（大阪大学　整形外科））

●直視下手術人工関節コース：

菊川和彦先生（マツダ病院　整形外科）
酒井忠博先生（トヨタ記念病院　整形外科）
河野友祐先生（藤田医科大学　整形外科

【運営協力】NPO メリジャパン

【スケジュール】＊予定

2026 年 11 月 28 日（土曜日）

08:30　集合、共通講習：キャダバーに関する諸注意（60 分）
09:30　黙祷：講師による講義及びデモンストレーション（90 分）
11:00　キャダバー実習開始
12:00　休憩
13:00　キャダバー実習
16:00　縫合・片づけ・黙祷
17:00　終了

2026 年 11 月 29 日（日曜日）

08:30　集合、共通講習：肩関節臨床解剖学（60 分）
09:30　黙祷：キャダバー実習
12:00　休憩
13:00　キャダバー実習
16:00　縫合・片づけ・黙祷
17:00　修了証授与・閉会の挨

【実習及び講義日程】

A：共通講習（60 分）：キャダバーに関する諸注意

1. 臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドラインについて
2. 名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンターの規定について
3. サージカル・トレーニングルームの使用方法
4. セミナー中の写真・動画撮影についての注意事項
5. 肩関節臨床解剖学

B−１：関節鏡コース：講師による講義及びデモンストレーション（90 分）

1. 【肩関節鏡手術基本手技】ポータル作成、ノットタイイング
2. 【鏡視下肩関節唇形成術】アンカーの挿入、関節唇修復
3. 【鏡視下腱板修復術】ASD, アンカーの挿入と腱板縫合

B−２：切開手術人工関節コース：講師による講義及びデモンストレーション（90 分）

1. 上方アプローチ、肩峰形成術、広背筋移行
2. 前方アプローチ、上腕二頭筋腱固定、烏口突起形成術
3. 解剖学的人工肩関節置換術
4. リバース人工肩関節置換術へのコンバージョン、surgical anatomy

【注意事項】

1. 検体の数に限りがあるため，全ての手技を行うことは困難です。

① 肩関節鏡視下手術（3 体 6 肩）6 名または(4 体 8 肩)8 名

② 肩関節直視下手術(人工関節置換術を含む）（3 体 6 肩）6 名または（2 体 4 肩）4 名

いずれの 2 つのコースから選んでいただきます。

またサージカルアナトミーについてはそれぞれのコース終了後に行って頂きます。

2. 会場までの旅費交通宿泊費は、参加者負担になりますのでご了承ください
3. 遺体は既知のウィルスおよび細菌への感染の危険がなく、生体と極めて近い状態を保持するホルマリン固定保存法である Thiel 法固定を行っています。またご遺体の状態は既往症、固定の状態等により差が生じます。あらかじめご承知おきください。
4. セミナー中は手術用ディスポーザブルガウン、ディスポーザブルのスクラブ上下（サイズが限られますので､ご自身のものをお持込みいただくことをお勧めいたします)､手袋、帽子、マスク、シューカバーを着用いたします（事務局で用意)。センター内で履いていただくサンダル等の用意はございません。シューカバーは用意しておりますが、万が一汚れてもよい履き物でご参加ください。学生実習用献体と同じ扱いですので、アイガードは不要です。
5. 外出後の再入室時には帽子、マスク、ガウン等汚れていない場合は再利用をお願いします。
6. 開始時のオリエンテーションと黙祷に遅れないために、途中参加は認めません。

早期の退出は、事務局に申し出てください。

7. いったん納付された参加費の返却はいたしませんので、ご了承ください。服装は質素で動きやすいものをお願いいたします。ジャージ姿は認めません。
8. 解剖のピンセット、メス、はさみなどはこちらで用意します。のこぎり、木工用ドリル、K-鋼線、ペアン、筋鉤なども用意いたします。細かい手術操作を希望される方は、自分用のはさみなど、手術器具を用意してください。その他、手術手技で用意するアンカーやスクリューなどは事務局で用意しますので、持参する必要はありません。
9. 解剖台や床の破損、汚染を起こさないよう、十分な配慮をおねがいします。標本の破片は個別の専用のボックス、使用済み手袋はゴミ箱、メスは針用のボックスに入れてください。標本の撮影は可能ですが、個人が特定できないように部分的なものに限定します。詳細は講師または当日受付に問い合わせください。
10. 本セミナー参加にあたり、免責書類に全員の先生がたの同意・署名を頂きますので、ご理解の上ご協力をお願いします。記入後は担当者が書類を回収します。

【お問合せ先】日本肩関節学会事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1　パレスサイドビル
(株)毎日学術フォーラム内
ＴＥＬ：03-6267-4550
E-mail：maf-shoulder-s@mynavi.jp